

平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市中鶉7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	17,100,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,668	13,680	14,505	20,617	22,249
	移動児童館利用者数	955	766	825	919	820
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	17	18	14	16	13
	開館日数(単位:日)	157	151	156	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長及び常勤職員3人。(児童厚生員1人、保育士1人、体育指導員2人)。 ③「おたより」を毎月発行・配布、利用者パンフレットの作成・配布、児童館ホームページ、職員ブログの更新、ぶりあネットの活用。 ④意見箱の常設。利用者アンケート(幼児の保護者及び小中高生向け)の実施と結果の掲示(情報開示の徹底)
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具、遊具の毎月定期点検実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトルなどを事業に活用し、リユースに努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。危機管理研修を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成28年7月 幼児クラブ参加者(保護者)149人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数110人(回収率73.8%) 【児童・生徒用アンケート】 平成28年8月23日～9月20日 児童センターを利用している小学生、中学生及び高校生にアンケート(無記名)を実施。 回答者数95人(小学生 77人、中学生 12人、高校生 3人、学校学年未記入 2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○児童センターを知ったきっかけ(上位) 知人・友人から 26人、インターネット・HP 24人、地元にあるから知っていた 20人 他 ○幼児クラブを知ったきっかけ(上位) 児童センターの掲示を見て31人 知人・友人から 28人、インターネット・HP 17人 他 ○幼児クラブについて ・幼児クラブに参加して 大変満足 52人、満足 53人、普通 4人、やや不満 1人 ・職員の対応について 大変満足 64人、満足 44人、普通 2人 ・定員、回数、開催日について ちょうど良い 70人、少ない 1人、多い 1人、毎週あればよいと思う 3人、隔週なので少し寂しい 2人、未回答 7人</p> <p>【児童・生徒用アンケート】 ○サンフレンドうずら児童センターが好きですか。 とても好き 28人、好き 36人、普通 30人、好きでない 0人、未記入 1人 ○どんなところが好きですか。 遊ぶところ、いっぱい遊べるところ 27人、楽しいところ 9人、卓球・ビリヤードがある 6人 おもちゃがいっぱいあるところ 5人、施設が好き(2階建てであること、クーラーがあること) 4人 他 ○児童センターでどんな遊びが好きですか。(上位) 卓球 47人、ドッチボール 39人、カラム 23人、鬼ごっこ 21人、カードゲーム20人 他 ○児童センターを楽しく、良くするため、してほしいことは何ですか。 遊び道具を増やしてほしい 42人、イベント(まつりなど)を増やしてほしい 27人、建物をきれいにしてほしい 24人、昼食をとれるようにしてほしい 20人</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>◎その他、児童センター全体についてのお気付きの点があればお聞かせください。 ・英語のサークルをやってくれるとうれしい。 ・父親向けのイベントや父親同士の交流会があると嬉しいです。 ・利用者のマナーがもう少し良いと嬉しい。 ・いろいろな遊び、活動の準備ありがとうございました。 ・土曜日にパパと参加できる行事をふやしてもらえると嬉しい。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>内容を深め、事業数を増やすことで利用しやすい環境を整えた <input type="checkbox"/> 下半年期15,688人、一日平均109人の利用 <input type="checkbox"/> 児童向け事業68回 子育て支援事業100回 移動児童館17回 母親クラブ55回合計240回実施し延べ 7,297人が参加した。 <input type="checkbox"/> 子育て支援事業を毎日行い、子育て環境の整備、子育ての不安軽減に努めた。 ・乳幼児(0歳、1,2,3歳児教室を10クラブで実施し、乳幼児及び保護者 延べ157組 2,651人が参加 <input type="checkbox"/> 幼児と保護者の昼食の場所を確保(火曜日～金曜日 午後12時～13時 図書学習室) ・延べ69人が利用</p> <p>地域の子育て力を上げる取組みを進めた <input type="checkbox"/> 移動児童館を積極的に進め公平な利用に努めた。15回実施 <input type="checkbox"/> 地域での母親クラブ活動 55回実施(読み聞かせ、人形劇等) 延べ2,384人が参加 <input type="checkbox"/> 地域の行事に参加 ・鶉桜まつりに参加。 <input type="checkbox"/> 若いボランティアの活動の場を提供し、次世代の地域の担い手育成に努めた。 ・児童のときから利用していた地域の大学生、社会人及び小中学生がボランティアとして各事業で協力した。 <input type="checkbox"/> 未就園児とその親を対象にリズム体操などを月1回、サタデーモーニングフィーバーとして実施した。 <input type="checkbox"/> 放課後子ども教室(鶉小、茜部小)に2回参加、協力した。 要支援児童への取組みを充実 <input type="checkbox"/> 要支援、要保護児童への取組みとして、支援と予防に努めた。 ・子ども、保護者からの相談7件(進路及び家庭問題等) <input type="checkbox"/> 要支援児童において、問題となるケースがあるときは、関係団体等とケース検討会を開催し、支援する。 <input type="checkbox"/> 主任児童委員、小中学校、保護者等関係者、団体とネットワークが確立されており、情報の共有が可能。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 岐阜市社会福祉事業団内の独自研修5回、所長会6回で、ノウハウ、情報の共有化、課題への対処や意思統一などを行った。 <input type="checkbox"/> ぶりあネット、岐阜市社会福祉事業団のHPの円滑な活用ができるようになり、うずら児童センターのHP、ブログに加え、ネットを利用した広報活動の幅が広がった。 ホームページアクセス件数 1,755件</p>
<p>今後の取組み</p>	<p><input type="checkbox"/> ボランティアと協力し、事業を展開していく。 ・母親クラブ、保護者、社会人、大学生と小中高生等のボランティアの育成と協力 児童センター事業の充実と地域の子育て支援に貢献できるようボランティアの協力を得ながら事業を実施する。 <input type="checkbox"/> 要支援児童に対する取り組み ・不登校及び引きこもりなど中高校生の相談があるときは、子ども・若者支援センター、学校、主任児童委員など関係団体、職員と連携して、支援していく。 <input type="checkbox"/> 子どもからの意見 アンケートを実施し、子どもの要望を把握した(9月)。アンケート結果から、必要に応じて事業の見直しや子どもたちが事業の企画立案に参加できるように努める。 <input type="checkbox"/> 不審者対策 ・不審者対策の研修会議に参加し、危機管理に努める。 ・マニュアルを見直し、不審者対策の強化を行う。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりを毎月担当小学校へ配布、幼児用パンフレットを親子ふれあい教室などで配布、またホームページのブログで行事を紹介するなどの広報活動を行っている。 今期利用者数の実績は、過去3年間の平均と比較した場合減少しているため、「利用促進、利用者増の方策」についての評価をBとした。 乳幼児と保護者対象の登録制の幼児クラブなどの子育て支援事業を100回実施し、地域の子育て環境整備、子育て不安軽減に努めた。 前期より始めた学校の土曜授業のある日の午前、未就園児とその親子を対象にリズム体操を行う「サタデーモーニングフィーバー」を継続し利用促進に努めるほか、新規事業として、併設する障がい者センターの障がい者と児童センター利用者の交流を図る陶芸教室を開催するなど、施設の特性を活かした事業を実施した。 また、地元の鶉さくらまつりにブースを出展するなど、地元活動への参加を積極的に行った。 職員体制や運営状況については、問題なく運営が行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・「利用促進、利用者増の方策」について、利用者数は今期を過去3年間の平均と比較した場合減少しているが、「サタデーモーニングフィーバー」など児童の利用が見込めない時間に幼児と保護者の利用があるよう工夫を行うなど、他の施設には無い取組を行い、利用者数も昨年と比較し大幅に増加していることからA評価とした。 ・地域の関係団体と連携し、要支援児童への取組を積極的に行っており、評価したい。 ・施設内での飲食については各施設の利用者アンケートなどにより要望も多い為、安全面、衛生面に配慮し、可能な限り取り組んで頂きたい。 ・利用者アンケートについて、「満足」・「不満」・「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」・「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」・「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満なのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていきたい。 ・管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
